

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 オレキシン受容体拮抗薬の迅速血中濃度測定法の確立』

研究機関名 東邦大学医学部

研究責任者 法医学講座 職位・氏名 教授・黒崎 久仁彦

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報はオレキシン受容体拮抗薬の迅速血中濃度測定法を確立することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、今後のオレキシン受容体拮抗薬の過量内服患者の早期治療につながります。

【他機関への提供】

収集した試料・情報は解析・管理のため昭和大学医学部法医学講座（松山高明教授）、日本大学薬学部薬品分子化学研究室（三浦基文教授）に提供します。提供は東邦大学医学部法医学講座の長谷川 智華または青山 剛一が各施設に手搬送で行います。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:血液

情報:病歴、診療の治療歴、既往歴、副作用等の発生状況、検査値、個人情報(年代、性別)

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年12月より利用、提供を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医学部 医学部長 池田 隆徳

【試料・情報の取得方法】

対象者:2022年4月～2024年10月までに東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター一科において、オレキシン受容体拮抗薬による急性薬物中毒で入院された方

方 法:急性薬物中毒分析検査の際に採取した血液のあまりを使用し、オレキシン受容体拮抗薬の血中濃度を測定します。その際に、診療録(カルテ)から抽出したデータも利用し、測定結果を解析します。

入院時の急性薬物中毒分析検査の際に採取した血液のあまりを使用するため、新たに採血を行うことはありません。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医学部法医学講座 研究代表者: 黒崎 久仁彦 役職: 教授

【利用する者の範囲】

東邦大学医学部法医学講座	研究責任者: 黒崎 久仁彦
東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター	研究責任者: 本多 満
昭和大学医学部法医学講座	研究責任者: 松山 高明
日本大学薬学部薬品分子化学研究室	研究責任者: 三浦 基文

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医学部法医学講座

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026年4月1日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医学部法医学講座

職位・氏名 助教・長谷川 智華

電話 03-3762-4151 内線 2425